

# オハラ☆ブレイク

## 天神浜で初開催

猪苗代のさまざまな魅力に触れることができるカルチャーミックスイベント「オハラ☆ブレイク」が8月1日から9日まで、天神浜で初めて開催されました。

このイベントは、本町出身で仙台市のイベント会社ジー・アイ・ピー執行役員の菅真良さんが、古里の魅力を多くの人々に知ってもらうと企画。地元の人と一緒につくる「大人の文化祭」として、音楽を中心に美術、写真、食など、さまざまな文化を感じられる場を提供しました。

湖畔の特設ステージでは、斉藤和義さんやトータス松本さんなど、数十組のミュージシャンが演奏を披露。常設展として松林のトレーラーハウスなどに芸術作品を展示する「小さなロッジの美術館」には、本町出身の写真家、野口勝宏さん、同じくカリカチュア（似顔絵）アーティストの渡辺孝行さんが作品を展示し、来場者の目を楽しませました。



「猪苗代☆食堂」に出店した猪苗代青年会議所の皆さん。生トマトのかき氷や幻の野菜「余時きゅうり」の一本漬けが好評を博した

渡辺孝行さん（左）が野口勝宏さんの似顔絵を制作。本町出身の世界で活躍するアーティスト同士が満面の笑みでツーショット



会場にずらりと展示された「農の風景絵画」。農青連が主催したコンテストには町内の小学1、2年生や幼稚園児らが多数作品を寄せた



「オハラ☆ブレイク」のテーマソングを歌う青谷明日香さん。青谷さんの作ったこの曲は、期間中、JR猪苗代駅構内でも流され、雰囲気盛り上げた

町の食の魅力を発信する「猪苗代☆食堂」には、町内の団体や店舗が出店。町商工会青年部、JAあいつ青年連盟猪苗代地区（農青連）、猪苗代青年会議所などが、地元産の食材を使ったオリジナルのグルメを新たに考案し、来場者に提供しました。

民謡「会津磐梯山」に歌われる小原庄助さんのように、来場者にゆったりとした時間を過ごしてもらおうと「オハラ☆ブレイク」と名付けられたこのイベント。

その名のとおり、来場者たちは日常の喧騒から離れた雄大な自然の中で、思い思いにイベントを楽しんでいました。

来場者たちはゆったりとした雰囲気の中、思い思いにイベントを楽しんだ



### 【VOICE】



ヨガインストラクター  
meico さん（東京都、旭町出身）

このイベントでヨガをさせていただき、あらためて猪苗代のすばらしさに気付くことができました。

人の心も自然の光もあたたかく満ち溢れ、お金や物では得ることのできないこの豊かさをとても誇らしく思いました。

「オハラ☆ブレイク」という、さまざまな文化をミックスさせた唯一無二の素敵なイベントが来年、再来年と続いていき、多くの方が猪苗代を訪れて、澄んだ空気、透明な水、生い茂る緑、磐梯山と猪苗代湖に包まれたこの地に触れて、本当の豊かさを感じ、幸せな気持ちになってもらえたら、とてもうれしいです。

### 【VOICE】



渡部美香さん（左＝東京都、長坂出身）  
山本 文さん（右＝同、上新町出身）

たまたま帰省したらこのイベントが開かれていることを知り、2人で来ました。

このようなイベントが猪苗代で開かれるなんて、私たちが学生の頃には考えられませんでした。東京にいてもなかなか会えないミュージシャンたちがここで歌っていることが信じられません。「ここは本当に天神浜なの？」と思ってしまうほどです。

このイベントの魅力は「のんびり感」ですね。ゆったりと楽しめるのがとてもいいと思います。これからもずっと続けていってほしいです。来年は事前に調べて、予定を合わせて来たいですね。

ジー・アイ・ピー執行役員  
菅 真良 さん  
（上新町出身）



かねてから、コンサートを軸にしたイベントを開催することで、私のふるさとである猪苗代に恩返しできないかと考えていました。このたび、地元の皆さんなどの協力のおかげで、なんとか実現にこぎつけることができました。

「オハラ☆ブレイク」は、「瀬戸内国際芸術祭」からヒントを得たイベントです。5年前にこの芸術祭を見る機会があり、その時に常設展示作品のリピーターに魅力を感じて、猪苗代で音楽を含めた同じような企画ができないかと思いました。

「リピーターを増やすことが、この町に合っているのではないかと」「何度も来てもらうことで、猪苗代の良さもよく知ってもらえるのではないかと」思ったんです。

今回は、集客数ではかなり厳しい結果となりましたが、文化的な側面では成功だったといえます。日本を代表するミュージシャンたちが猪苗代に来てくれて、良さをわかってくれた。「また出演したい」と言ってくれた。芸術を展示していた皆さんも「違う展示に挑戦したい」と言ってくれた。これはとても大きな収穫だと思います。

そして、何より一番良かったのは、来てくれたお客さんたちのほとんどが満足して、「また来たい」と言ってくれていることです。

これからもこのイベントを継続していきたいと思っています。今後は、ワークショップや子どもの遊び場などを充実させていきたいですね。

食べ物については、今回「猪苗代食堂」に関わった町の団体の皆さんが、手応えを感じたのと同時に、改善すべき点も見えたのではないかと思います。今後「食でのおもてなし」を研究していくきっかけにもなったのではないのでしょうか。

このイベントを続けていけば、猪苗代に住んでも、音楽や美術など、表現の分野で世界と対等に渡り合える人がきっと出てくるはずです。

音楽や美術や食べ物で、みんなが喜んでくれる場所が町に増えれば、それを目指す人たちも出てきて、生活としても成り立つ。そういったことを目指していきたいです。